

# なぜ、CPPが導入されているのか？



調達プロフェッショナル認定資格  
全日本能率連盟資格登録第114・115号

## 調達部門が直面する課題とCPP

● 社内外の事業環境変化に伴い、調達人材に求められる能力は、より広範囲なものになっています。

調達部門が直面する課題

### ① OJT教育の限界を打破する

- ・属人性が高い
- ・人の出入りが激しい
- ・受動から能動へ

バラつきがない  
均一な教育をする

### ② 他部門との関わり強化

- ・取引先に一枚岩で臨む体制をつくる

調達はECMと  
SCMのつなぎ役

### ③ 開発購買の促進

- ・量産設計前にコストの80%は決まってしまう
- ・より上位設計からの参画

開発の上流段階から  
QCDをつくりこむ

### ④ 製品多様化への対応

- ・「ニーズ」と「シーズ」
- ・「もの」から「こと」へ

顧客ニーズの変化に  
柔軟に対応していく

## 各社の悩みとは？

下記の悩みをかかえた人材育成担当者、業務担当者、マネジメント層から広く支持されています！  
詳細はCPP公式ホームページより、企業・受験者のインタビューをご覧ください！



※こちらは実際にCPP導入される前に多く聞く声 = 導入後に評価いただいた声

- ・社内外の共通言語がない。
- ・業務が属人的、若手の定着率が低い。
- ・新人、異動者の育成をしたいがOJTでは不十分、業務が広すぎて何を教えて良いかわからない。
- ・グローバルに活躍する調達人材を育成したい
- ・バイヤーとしての基本や業務の基準のレベルの底上げをしたい。
- ・バイヤーとしてのスキルアップを計画的に実践していきたい。
- ・購買業務全般について広く学ばせたい。
- ・調達業務の全体の流れをつかみ、調達力が発揮されるポイントを学ばせたい。
- ・BCP、BCMで何を参考にすればいいかわからない。
- ・CSR、CSV、グリーン調達、高度化する業務の中で良い参考書が見当たらない。

各社の活用事例  
インタビューはこちら



～お問い合わせ～

一般社団法人日本能率協会 資格制度事務局

E-mail: seisan@jma.or.jp / TEL:03-3434-6616 (平日9:00～17:00)



## 購買・調達スキルのプロフェッショナルのための資格試験(CPP資格)

# 調達プロフェッショナル認定資格

### CPP資格とは？

・CPPは、Certified Procurement Professionalの略で、購買・調達業務に携わる方を対象に、購買・調達分野における専門的な知識を身につけていることを証明する資格です。

これまで、数々の企業から、**1,300社以上・のべ26,000人以上の方が受験しています！**

CPP-B級 受験者および合格者 2007～2023年度 累計



CPP-A級 受験者および合格者 2007～2023年度 累計

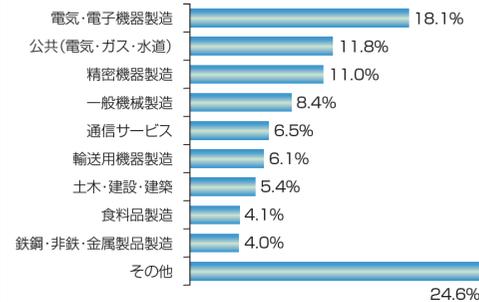


## 受験企業例

※ 順不同、法人格省略

IHI、アサヒビール、味の素、アスルク、アステラス製薬、エア・ウォーター、江崎グリコ、エヌ・ティ・ティ・ドコモ、オムロン、オリンパス、花王、川崎重工業、関西電力、キヤノンマーケティングジャパン、キリンホールディングス、クボタ、KDDI、神戸製鋼所、コカ・コーラ ボトラーズジャパン、コニカミノルタ、小林製薬、サッポロビール、資生堂、シチズン電子、島津製作所、シャープ、ジェイアール西日本商事、新日鉄住金エンジニアリング、住友重機械工業、セイコーエプソン、積水ハウス、全日本空輸、総合警備保障、ソニー、ソフトバンク、ダイハツ工業、竹中工務店、ダスキン、田辺三菱製薬、TIS、TDK、DMG森精機、テルモ、東京ガス、東京電力、東芝、TOTO、戸田建設、凸版印刷、ナブテスコ、日清オイリオグループ、日本信号、日本ガイシ、日本たばこ産業、日本郵政、ネットワンシステムズ、ハウス食品、東日本電信電話、日立製作所、日野自動車、富士ゼロックス、富士電機、ブラザー工業、古河電気工業、本田技術研究所、ミズミ、三井化学、三菱化学、三菱重工業、三菱電機、村田製作所、メタウォーター、矢崎総業、ヤマハ、ヤマハ発動機、ヤンマー、ユニ・チャーム、横河電機、横河マニュファクチャリング、横浜ゴム、ライオン、LIXIL、YKK AP、他

## 業種別 受験者分布



調達業務を体系的に学び、  
着実に  
調達プロフェッショナルへと  
ステップアップ可能！

CPP 公式サイトより  
マンガで分かるCPP  
最新の情報、お得なコンテンツを  
好評配信中!!



<https://cpp.jma.or.jp/>

JMA 経営革新を推進する  
一般社団法人日本能率協会

# 資格取得までの流れ

## 社内導入 個人受験 検討

- 公式サイト本パンフの活用
  - ・他社事例
  - ・受験情報
  - ・試験、ガイドサンプル

## 学習・試験対策

- 公式サイトガイドの活用
  - ・自己学習、グループ学習
  - ・合格者事例
- JMAの試験対策セミナーの活用
  - ・アーカイブセミナー
  - ・公開セミナー

## 資格取得

- 試験申込
  - 各自で
    - ・受験日時の予約
    - ・テストセンターの予約



## 活用

### 社内導入・個人受験 検討

**社内導入**：導入目的の明確化、情報収集、教育計画、人事制度、対象者の基準・選定・人数、団体受験の有無… など  
**個人受験**：受験目的の明確化、取得後のキャリアプラン、情報収集、合格に向けたスケジュール… など

### CPP公式ガイド 調達プロフェッショナルスタディーガイド（第4版）

調達マネジメントガイド B5判 約171頁	知識ガイド① B5判 約249頁	知識ガイド② B5判 約199頁	知識ガイド③ B5判 約250頁
1. 調達競争力強化の方向性 2. 調達基盤	1. 戦略・マネジメント 2. 調達のサステナビリティ 対応 3. 開発購買 4. 調達実施	5. 調達管理 6. 調達実施のための基礎知識 7. 調達システム	8. CRのための関連知識 9. 専門領域調達 10. マネジメント手法 11. ビジネスファンダメンタルズ
1セット：49,500円（税抜：45,000円） / 一度に5セット以上のご購入の場合1セット当たり46,200円（税抜：42,000円）※ばら売りはございません			

### 試験対策セミナー

#### 【アーカイブセミナー（動画受講型）】

詳細・お申込みは⇒ [https://cpp.jma.or.jp/cpp-b\\_online](https://cpp.jma.or.jp/cpp-b_online)

<b>CPP-B級試験対策オンラインセミナー</b>	受講料 71,500円/1ID（税込） 受講期間 4か月間
----------------------------	----------------------------------

#### 【公開セミナー（日時指定参加型）】

詳細・お申込みは⇒ [https://school.jma.or.jp/user\\_data/procurement.php](https://school.jma.or.jp/user_data/procurement.php)

<b>CPP-B級試験対策セミナー【リアル・オンライン】</b> セミナーID：100445	<b>CPP-A級試験対策セミナー【オンライン】</b> セミナーID：100383
日本能率協会会員 92,400円/1名（税込） 会員外 103,400円/1名（税込） 2日間 ※日時指定、通いはオンライン講義	日本能率協会会員 55,000円/1名（税込） 会員外 66,000円/1名（税込） 1日間 ※日時指定、オンライン講義

### 調達プロフェッショナル認定資格 試験概要（第4版準拠）

試験名	CPP-B級	CPP-A級
試験日	年間を通して受験可	
試験会場	日本を含む 180か国のテストセンター	
予約期限	受験日の前日まで（オンライン予約システム上）	
試験範囲	CPP公式ガイド「調達プロフェッショナルスタディーガイド」（最新版）に準拠	
試験方式	CBT方式（コンピュータによる試験）	
想定対象者	調達業務に関して3年程度経験のある方	購買・調達部門の管理者 およびこれから管理者を目指す方を想定
受験資格	どなたでも受験可	CPP-B級資格取得者
受験料金	16,500円（税込） / 15,000円（税抜） ※団体受験（5名以上）の場合、 <b>15,400円（税込） / 14,000円（税抜）</b>	19,800円（税抜） / 18,000円（税抜） ※団体受験（5名以上）の場合、 <b>18,700円（税込） / 17,000円（税抜）</b>
問題形式	90問 / 90分（アンケート時間を含む） 択一問題、語彙選択問題	40問 / 90分（アンケート時間を含む） 択一問題、語彙選択問題
合格基準	530点（800点満点）	550点以上（800点満点）

- ※（1）試験問題の配点、回答状況、解答は非公開です。お問合せいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
- ※（2）試験に合格した場合、同試験が改訂された場合を除き、合格後12ヶ月は同じ試験を受けることはできません。
- ※（3）規定に違反して受験したことが判明した場合、受験が無効になりますのでご注意ください。
- ※（4）公式サイトに問題形式サンプルがあります。（CBT方式をイメージするためのサンプルで、実際の試験の形式と異なる場合がありますのでご注意ください。）

### 受験の申込方法と流れ

<b>Step 1</b>	新規ユーザー登録	ピアソンVUEのサイトから「アカウントの作成」から新規ユーザー登録
<b>Step 2</b>	受験日時、会場予約	ご自身のご都合に合わせてご予約 ※全国のテストセンターで受験できますが、会場によって営業日が異なりますのでご注意ください。
<b>Step 3</b>	受験料金の支払い	クレジットカード、パウチャー、銀行振込にて受験料金のお支払
<b>Step 4</b>	受験	予約日時の 15 分前までにテストセンターへご入場 ※2 点の本人確認書をお持ちの上、予約したテストセンターで受験してください。
<b>Step 5</b>	合否の通知	受験完了後にテストセンター内で確認 ※受験後 3 日以内にピアソンVUEのシステムより合否、認定証の閲覧・ダウンロードが可能です。

### 活用

- ・名刺への印字（取得証明）
- ・社内外への水平展開、生産性向上、業務効率化
- ・BCP、BCM、CSR・CSV調達などの計画策定
- ・他部門連携（開発・設計部門、マーケティング部門）の在り方の見直し など

各社の活用事例  
インタビューはこちら

